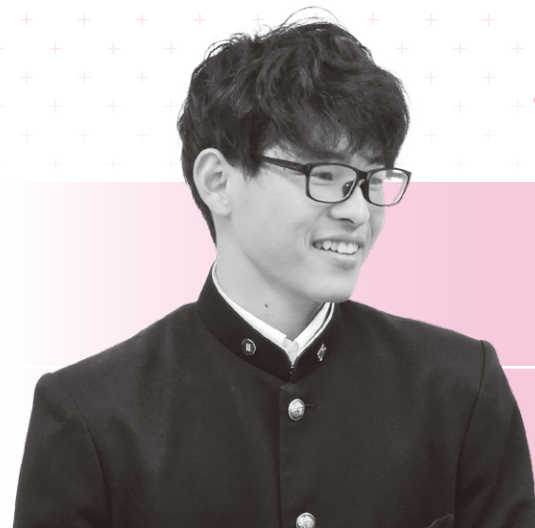


夢を追いかける高校生に聞いてみました



記事内容は、取材当時(2021年12月)のものです。



夢は中学校教師! 女性も男性も輝ける社会の大切さを伝えたい!

こわだ はるき
小和田 晴輝さん
栃木県立足利高等学校 2年

市制 100 周年記念事業として、昨年 8 月に「足利市高校生議会」が開催されました。高校生議員として、男女共同参画に関する質問をした小和田晴輝さんにお話を伺いました。



高校生議会での小和田さん



市議の皆さんからアドバイスを受ける小和田さん

編集委員のコメント

将来、教員を目指したいという小和田さんの理路整然とした話ぶりに感動しました。足利市のために少しでも役立ちたいという気持ちがあふれ、高校生の頼もしさを改めて力強く感じました。(H.M)

■参加したきっかけは？

現在、生徒会長をしていますが、今後の生徒会の運営に役立つと思い参加しました。

■どのようにして臨みましたか？

よりよい足利になるにはどうしたらよいか、そのためにはどんな質問をしたらいいか悩みましたが、周囲の人や市議会議員の皆さんに色々とアドバイスをいただきながら、自分で調べ、準備しました。

■参加してどう感じましたか？

自分の身近にある男女共同参画の問題や性の多様性などについて、足利市の取り組みや、今後のあり方について質問しました。私自身、今までの学校生活で男女共同参画の教育を受けていることから、男性だから、女性だからという考えはありません。令和 4 年度から足利高校と足利女子高校が統合し、男女共学となるので、男女共同参画について一人ひとりの考え方が変わるきっかけになるのではないかと思います。高校生議員として、議場で質問できたことは、とても貴重な経験となりました。

■今後、この成果をどのように活かしますか？

近い将来、私が社会に出る頃、男女共同参画や性的マイノリティへの取り組みなどが、どのようになっているかわかりませんが、この経験を学校や生徒会活動で活かし、高校生として自分たちができることは何か考えていきたいです。将来は教師になって、若い世代に教え、ともに考えていきたいと思っています。



夢は高校野球の審判員! 輝いている球児の夢を支えたい!

せとやま ひゅうご
瀬戸山 飛悠悟さん
栃木県立足利南高等学校 3年

ルールを理解するだけでなく、気配りが重要となる野球審判員。近年、女性の審判員も活躍するようになってきました。そんな野球審判員を目指す瀬戸山飛悠悟さんにお話を伺いました。

■目指したきっかけは？

もともと野球をやっていましたが、中学校の時の練習試合で審判をやってみたら意外と楽しく、それ以来、審判員を目指すようになりました。

■審判員のやりがいは？

周りの状況をよく見て、試合がスムーズに進行するように気配りしなくてはならないので、神経を使いますが、試合が無事に終了した時やトラブルへの対応が上手くできた時は、充実感があります。また、選手とは 180 度違った目線で試合を見られるので、とても楽しいです。

■NPB(※) アンパイア・スクールを受講してみてどうでしたか？

スクールは、野球審判員の技術向上などのために開催されています。現役のプロの審判員の方々に審判の技術や心構えなどを親切に指導していただけたことが、とても楽しく、とても勉強になりました。

(※) 一般社団法人日本野球機構

■今後の目標は？

高校卒業後は、仕事をしながら経験を積ませてもらい、高校野球の審判員を目指したいと思います。女性の審判員について話題になる事がありますが、今後、一緒に審判員をすることがあるかもしれません。女性の視点での気配りや心遣いができるのは、とても素晴らしいことだと思うので、もっともっと女性の審判員が増えて欲しいと思うし、自分もそんな気配りができる審判員を目指したいです。



「プレイ」をコールする瀬戸山さん



球審の瀬戸山さん

編集委員のコメント

瀬戸山さんの話を聞いていると、将来どんな審判員になるのか、期待でワクワクです。審判員がいなくては、野球は成立しません。仕事との両立は大変ですが、ぜひ頑張ってもらいたいと思いました。(T.M)